

## 楽しく・感謝 しながら書続ける

新型コロナウイルス感染症の拡大により不安やストレスが増加する中、区内でも誹謗中傷や差別・偏見などの人権侵害が発生しています。

今回は、身近な生活の中から人権を考えるきっかけを見つけたいと考え、日本を代表する書道家・現代アーティストである武田双雲<sup>たけだそううん</sup>さんにお話を伺いました。そのなかには、たくさんのヒントが詰まっています。

### 子どもの頃、 先生に怒られる理由が分からなかった

実は僕、良いか悪いか、○か×か、上手か下手か、そういう区分けがすごく苦手なんです。子どもの頃から学校の授業で国語と算数が分かれているのがよく分からなくて、誰がどうやって分けたのかな、どうやってみんなは区別しているのかなと思っていました。小学校5年生くらいからは先生と合わなくなって、中学では友だちにも無視されて。先生に怒られてもその理由が分からないから、どんどん萎縮してしまう。だから学校にはついていけなくて、まあそのおかげで高校では宇宙物理学の世界に没頭できたのですが、人と合わないことにすごく劣等感があつたんです。大学生になると少しずつ友だちができました。でも、就職して社会人になってもやはり人間社会が読み込めない。会社にとったら迷惑な人間だったと思いますよ（笑）。

### 人間に対する好奇心でいっぱい

大人になってから分かったのですが、僕はADHD<sup>\*</sup>らしいんです。そのせいなのか自分の中に時間軸がなく、例えば受験のために勉強するとか、ダイエットのために食事制限するとか、未来のために何かを努力することがずっと理解できなかった。どうしてみんなは未来という見えないものを目標にできるのか、ずっと不思議でした。僕は今しか生きられない、頑張れないし努力もできない。そんな僕が、こうしたインタビューを受けているのも不思議ですよ（笑）。「武田双雲、今を生きる」みたいな記事があると、いやいや自分は今しか生きられないんですけど、それで良いですかって。僕は何も変わっていないので、時代が変わってきたのかな（笑）。

僕の両親は、僕が勉強したからといって褒めるわけでもなく、人と比べることがなかった。僕が何をやっても両親は「素晴らしい」「天才だ」と絶賛していましたから、特に期待をされることもなく、良いか悪いかの区別もされない。でも、学校や会社では周りが勝手に期待して、勝手に失望して。僕は人が何を考えているのか分からなかった。だから知りたくて知りたくて、人間に対する好奇心でいっぱいなんです。

※ ADHD：注意欠如・多動症



武田双雲さんのアトリエにて。はねびよんを肩にのせた双雲さんの背後には「縁」という文字が書かれています。

(前ページから続く)

## 構ってくれなくてつらい？<sup>ほう</sup>放っておいてくれて最高？ 言い方ひとつで意味が変わる

人権問題については僕にはあまりよく分からないというのが正直なところ  
です。そういえば、僕の知り合いに「つらいつらい」と言っている女性がい  
て、どうしたの？と聞いたら「夫が冷たくて、ずっと放っておかれるんです。  
子どもが成長して手が離れたのに、私に構ってくれなくて」と。そうしたら  
次の週、別の女性が「うちの夫、最高なんです。放っておいてくれるんです」  
と。これは先週と同じじゃないか！って。同じ出来事なのに、その人の捉え  
方や言い方でだいぶ違う。同じだけ違う、これが人権ですかね(笑)。

例えば「この先どうするんだ！」と怒って言うのと、「この先どうしようか  
ね～」と笑って言うのとでは、同じ言葉でも全然違って聞こえます。僕は人  
間社会ってほとんどこれと同じではないかなと思うんです。

### 僕の好きな言葉は「楽」や「感謝」

世の中には、感動・感謝・楽しい・怒り・不安といったいろいろな感情の  
棚がある。そこから何を選ぶかはその人の自由。僕は選び放題というワクワク  
した感覚が強くて、つい選んでしまうのが「楽しい」や「楽」や「感謝」  
なんです。自分が好きな言葉なので、意識して選んできたのかもしれませんが。

幸福度研究のプロに言わせると、僕ってすごく幸福度が高いらしいです。  
とても楽しんでいて稀な存在だと。自分では「えっ、珍しいの？」って思  
いますけど。だって、逆にいえば楽しくない人が多いということですよ。僕  
はただ毎日を条件なしに楽しんでいるだけで、何も期待していないし、機を  
待っていないから今起こっていることが楽しい。好きや嫌いは関係なく何  
でも楽しいんです。ポジティブシンキングとはちょっと違って、前でも後ろ  
でもなくネガティブでもポジティブでもない。多動症だからか全方向に向い  
ているのかな(笑)。

### 人間は尊重し合う生き物だと思う

世の中自分みたいな人間ばかりだったら、区別も  
つかないダメだと思いますけど、いろんな人がい  
る。善か悪か、全員善人であるべきだという完璧主  
義を貫こうとすると、排除運動にもなりかねない。  
難しいですよ。じゃあ違いを受け入れるというこ  
とは、受け入れない人の個性も受け入れられるのか、  
とか。そう考えるとかなりややこしい。

僕の書道教室にはヒエラルキー<sup>\*</sup>がありません。初めて入った人もベテラン  
も、字が上手いも下手もない。全員が面白いって思っているからストレスが  
なく、みんなが褒め合ってます。たぶん、僕の書道教室が特殊なわけではなく、  
人間はそもそもヒエラルキー<sup>\*</sup>がなくなると、尊重し合う生き物なのだと思います。  
だって植物や動物は、相性はあるかもしれませんが、個々をバカにし合っ  
たりはしないですよ(笑)。

<sup>\*</sup>ヒエラルキー：ピラミッド型の階層組織



### あなただからこそできることがある

以前、僕が活動しているSNS上で「自分は価値がない  
気がします」という相談がきました。逆に僕は、価値があ  
るとかないとかってどういうことなのか、価値がある人  
ってどういう人なんだろうと聞きたい。人と比較したり人  
を評価したり、頭でばかり考えていて目の前のことを見て  
いないんじゃないか。自分は何者なのかという哲学はとりあ  
えず置いておいて、今自分の目の前にあるもの、例えば「こ  
こにある一杯のお茶をもっと味わおうよ」と言いたいですね。

僕の好きな言葉で、『だからこそできること』というのがあります。今  
だからこそ、あなただからこそ、日本人だからこそ…何を入れてもいい。  
『だからこそできること』は無限にあって、誰もが受け入れて生かせる魔  
法の言葉だと思います。僕自身はただ、自分だからこそできることを最大  
限にやっているだけ。何をしても楽しいし、みんなにも一緒に楽しんでも  
らいたい。『大田区だからこそできること』もきっとたくさんありますよね。  
そうそう、『はねぴよんだからこそできること』もね(笑)。

武田双雲さんが好きな言葉、「楽」。  
今回、大田区民に向けて書き下ろしてくれました。



**武田双雲**  
たけだそうらん／書道家・現代アーティスト

1975年熊本県生まれ。東京理科大学工学  
部卒業後、NTT入社。書道家として独立後は  
NHK大河ドラマ「天地人」や世界遺産「平泉」な  
どの題字を手がける。ベストセラーの『ポジ  
ティブの教科書』など著書も多数。近年、現代ア  
ーティストとして創作活動を開始し、2019年ア  
ートチューリッヒに出展、2020年には、代官山  
ヒルサイドフォーラム・日本橋三越にて個展を  
開催し、盛況を博す。

■公式ホームページ



# 差別や偏見で傷つけない・傷つかないために



自分とは違う立場や考え方の人と出会ったときに覚える違和感が、差別や偏見につながってしまう場合があります。

## さまざまな人権侵犯事件

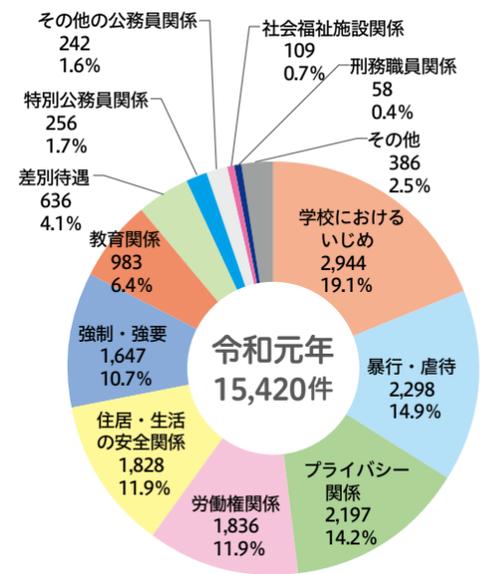
■人権とは誰もが生まれながらに持っている権利です。人種、性別、国籍、障がいの有無、年齢などで差別されず、全ての人に平等なものであり、その人がその人らしく幸せに生きていくために尊重されなければならないものです。

■しかしながら、法務省・文部科学省が発行した「令和2年版 人権教育・啓発白書」によると、令和元年に新規に救済手続きをした人権侵犯事件は15,420件もあります。内訳は、「学校におけるいじめ(2,944件)」が最も多く、

続いて子どもに対する虐待など「暴行・虐待(2,298件)」インターネット上での誹謗中傷などの「プライバシー関係(2,197件)」と続いています。

■そのほかにも、職場におけるセクシュアルハラスメント、部落差別、障がい者や外国人への差別など、さまざまな人権侵犯事件が報告されています。特に今年は新型コロナウイルス感染症に起因する差別や偏見が社会的な問題となりました。

【令和元年 人権侵犯事件の救済開始件数】



出典「令和2年版 人権教育・啓発白書」

## 大田区でも新型コロナウイルス感染症に起因する差別が発生しました

新型コロナウイルスの感染者を特定する情報を SNS で流す、営業を再開したお店に誹謗中傷の電話をかけるなどの差別被害が大田区内でも報告されています。国は「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」の中で、感染者・濃厚接触者や、診療に携わった方々に対する誤解や偏見に基づく差別を行わないよう示しています。また、法務大臣、文部科学大臣は、不当な差別・偏見の防止に向けたメッセージを発しています。区も「コロナ差別を許さない～相手を思いやる気持ちを～」と題し、ホームページで啓発したほか、「STOP！コロナ差別」のポスターを作成し、特別出張所や図書館などで掲示しています。差別・偏見は許さないという意識を強く持ちましょう。大田区の啓発活動についてはホームページからご覧になれます。



(ホームページはこちら)

## どうして差別や偏見が起きるの？

差別・偏見の背景にあるのは、①感染や生活変化への不安②感染予防に対する考え方の違い③情報不足です。先が見えず、不安な気持ちが強くなると、自分の行動が正しいと思いたい気持ちが強くなり、情報の正確さを判断するのが難しくなるため、差別が起きやすくなります。不安なときこそ、不確かな情報に振り回されないか、自分や身近な人の安全・安心を守るための行動が誰かを傷つけてはいないか、冷静になって確かめてみましょう。

## 相手も自分も尊重し、問題に気付く

私たちは日々を過ごす環境の中で“違いをはかるものさし”を手に入れ、自分と人を比べていることがあります。また、これまではあまり問題視されてこなかった行為も人権侵害につながる場合があります。人権問題に関心を向けること、気付くことから始めてみませんか。



©NHK  
ふつうってどういうこと？  
NHK for School  
「Q～こどものための哲学とは？」より

ふつうでいたいと思うこともあれば、ふつうじゃいけないと思うこともある。どうして私たちは「ふつう」というものさしが気になるのでしょうか？ Qくんと一緒に、いろいろな角度から「ふつう」を考える15分間。



(詳しくはこちら)



ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー  
ブレイディみかこ・著 新潮社

自分や友だちの身に今起きていることを通して、人種や性別、貧富の差に向き合っていく「ぼく」。違いを理解するのは難しい。だからこそ相手の立場を想像する努力をしてみよう、と背中を押してくれる作品です。



こども六法  
山崎聡一郎・著  
伊藤ハムスター・絵 弘文堂

これまでは「しつけ」「いじり」だからと問題視されにくかった行為も、「虐待」「いじめ」になりうると認識されるようになり、苦しむ人を守るための法律がつけられました。子どもも大人も助けてくれる入門書です。

大田区配偶者暴力相談支援センター

ひとりで悩まず、相談してみませんか？  
秘密は守ります。費用は無料です

●大田区DV相談ダイヤル  
配偶者暴力に関する相談をお受けします。

☎ 6423 - 0502 月～金曜 午前9時～午後5時  
(休日、年末年始を除く)

●男性相談ダイヤル

家庭内のこと、家族のことなどの悩み事に男性相談員が対応します。

☎ 6404 - 6020 第2・4金曜 午後5時～8時

※相談受付は30分前まで(休日、年末年始を除く)

☎ 5744 - 1610 FAX 5744 - 1556

企業の方へ

ハローワーク大森からのお知らせ  
公正な採用選考システムの確立を！

『全国高等学校統一応募書類』を使用していますか？

令和3年3月高等学校卒業生の採用選考が10月16日からスタートしました。選考にあたっては、応募者の基本的人権を尊重し、適性や能力のみを採用基準とし、応募書類は全国高等学校統一応募書類を使用することとなっています。適性や能力と関係のない本籍地、家族状況などを応募書類に記載させる・面接時に尋ねるといったことは就職差別につながるおそれがあり、これらは、職業安定法などで収集してはならない個人情報としております。

『公正採用選考人権啓発推進員』を選任しましょう

東京労働局では、差別のない公正な採用選考を行う体制の確立を図るため、従業員50人以上の事業所で公正採用選考人権啓発推進員(以下「推進員」)を選任いただくこととしております。毎年6月1日現在の推進員の選任状況を「公正採用選考人権啓発推進員選任状況報告書」により、事業所所在地管轄のハローワークに報告をお願いしています。

「新規学卒採用 東京労働局」「公正な採用選考 東京労働局」検索

☎ ハローワーク大森 ☎ 5493 - 8713

令和2年度

人権啓発作品展応募作品より



「その一言大丈夫??」  
自分だったらどう思う??  
上田康太さん(東調布中学校・1年)



「あなたの心よごれていませんか?」  
小幡夢乃さん(東調布第三小学校・5年)



「人間の尊厳」  
笠間千鶴さん(雪谷中学校・3年)



「友情」  
海老原桜恋さん(入新井第二小学校・6年)

区立小・中学校人権啓発作品展

区立小・中学校の児童・生徒のポスター、標語、習字作品を展示します。  
☎ 12月3～10日 午前9時30分～午後5時(3日は午後1時から、10日は午後3時まで)  
☎ 池上会館 ☎ 教育総務部指導課 ☎ 5744 - 1435 FAX 5744 - 1665

人権啓発パネル展

人権啓発パネル、区立小・中学校の児童・生徒たちの人権啓発作品を展示します。  
☎ 12月14～18日(14日は午後1時から、18日は正午まで)  
☎ 区役所本庁舎3階  
☎ 人権・男女平等推進課人権・同和対策担当 ☎ 5744 - 1148 FAX 5744 - 1556

各種相談はこちら ※相談日・時間などについては、それぞれの相談先にご確認ください

相談内容	相談先
人権に関すること	東京法務局「みんなの人権110番」 ☎ 0570 - 003 - 110 東京都人権プラザ ☎ 6722 - 0124 ~ 5
男女平等に関すること	東京法務局「女性の人権ホットライン」 ☎ 0570 - 070 - 810 東京ウィメンズプラザ「男性のための悩み相談」 ☎ 3400 - 5313
女性相談に関すること	女性のためのたんぼ相談 ☎ 3766 - 6581
ひとりで悩んでいる人	東京いのちの電話 ☎ 3264 - 4343
高齢者のこと	大森地域福祉課 ☎ 5764 - 0658 FAX 5764 - 0659 調布地域福祉課 ☎ 3726 - 6031 FAX 3726 - 5070 蒲田地域福祉課 ☎ 5713 - 1508 FAX 5713 - 1509 荏谷・羽田地域福祉課 ☎ 3741 - 6525 FAX 6423 - 8838 高齢福祉課 ☎ 5744 - 1250 FAX 5744 - 1522
子どものこと	東京都品川児童相談所(月～金曜、午前9時～午後5時) ☎ 3474 - 5442 FAX 3474 - 5596 (上記以外の時間帯) ☎ 189 (児童相談所全国共通ダイヤル) 東京法務局「子どもの人権110番」 ☎ 0120 - 007 - 110 東京都教育相談センター ●いじめ相談ホットライン(24時間対応) ☎ 0120 - 53 - 8288 子ども家庭支援センター ●総合相談 ☎ 5753 - 7830 ●虐待通報専用ダイヤル ☎ 5753 - 9924 FAX 3763 - 0199 教育センター 教育相談 ☎ 5748 - 1201 FAX 5748 - 1390
障がい者のこと	さぼーとびあ(障がい者総合サポートセンター) ●相談支援部門 ☎ 5728 - 9433 FAX 5728 - 9437 大森地域福祉課 ☎ 5764 - 0657 FAX 5764 - 0659 調布地域福祉課 ☎ 3726 - 2181 FAX 3726 - 5070 蒲田地域福祉課 ☎ 5713 - 1504 FAX 5713 - 1509 荏谷・羽田地域福祉課 ☎ 3743 - 4281 FAX 6423 - 8838 障害福祉課 ☎ 5744 - 1700 FAX 5744 - 1592 東京都立中部総合精神保健福祉センター ☎ 3302 - 7711

相談内容	相談先
同和問題のこと	人権・男女平等推進課人権・同和対策担当 ☎ 5744 - 1148 FAX 5744 - 1556
アイヌの人々のこと	(公財)人権教育啓発推進センター ☎ 0120 - 771 - 208
外国人のこと	多文化共生推進センター ☎ 6424 - 8822 FAX 5710 - 6330 東京法務局「外国人のための人権相談所」 ☎ 0570 - 090911 (英語、中国語、ハングル、フィリピン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、スペイン語、インドネシア語及びタイ語)
エイズのこと	東京都 HIV/エイズ電話相談 ☎ 3227 - 3335
犯罪被害者のこと	(公社)被害者支援都民センター ☎ 5287 - 3336 警視庁犯罪被害者ホットライン ☎ 3597 - 7830
インターネット被害のこと	東京法務局人権擁護部 ☎ 0570 - 003 - 110 警視庁サイバー犯罪対策課 ☎ 5805 - 1731 東京都人権プラザ ☎ 6722 - 0124 ~ 5 こたエール ☎ 0120 - 1 - 78302 (東京子どもネット・ケータイヘルプデスク)
性自認及び性的指向に関すること	東京都性自認及び性的指向に関する専門電話相談 ☎ 3812 - 3727
セクシュアルハラスメント・労働問題に関すること	東京都労働相談情報センター ☎ 0570 - 00 - 6110

夜間人権ホットライン

相談専用 12月8日(火) 午後5時～8時  
☎ 6722 - 0127

人権侵害や日常生活の法律問題について、弁護士が電話でご相談をお受けします。費用は無料です。秘密は厳守します。  
☎ 6722 - 0124 ~ 5